



の。感性工学[3]に関する資料，調文は次の特質を有するもので、いずれも未発表の原著とする。ただし、本学会における口頭発表や梗概集への発表，本学会研査，実測，統計，実験などの研究報告で，信頼性，有用性，実用性に富み，新たな知見を含み，学術的，技術的に価値があり，新たな研究の推進，展開に資することができるものと認められるもの。特定の技日本感性工学会誌『感性工学』に掲載する和文研究論文は，感性工学の発展に寄与することを目的に，広く感性工学に関する研究成果を掲載・発表するものである。

### 3. 結果および考察

#### 3.1. 感性評価と物理量の対応

和文研究論文を投稿できる者は，本学会会員とする。ただし，共著の場合，論文筆頭者以外はこの規定に必ずしも拘束されない。日本感性工学会誌『感性工学』に掲載する「論文」「報告」「論説」等の和文研究論文は次の特質を有するもので、いずれも未発表の原著とする。ただし，本学会における口頭発表や梗概集への発表，本学会研究部会内における報告，シンポジウムや国際会議等での発表，大学の紀要や研究所・会社における研究報告で部内発表されたものなどは，日本感性工学会誌『感性工学』に応募することができる[2]。

#### 3.2. 快適性とその評価

感性工学に関する課題が理論的または実証的に論述され，独創性があり，目的・方法・手段・結論等が明記されており，学術的に価値ある知見あるいは結論を含み，認められるもの。もしくは，萌芽的な学術的研究であって感性工学に関する研究の過程や内容に新考察を含み，その発展性が大いに期待できると認められるもの。感性工学[3]に関する資料，調査，実測，統計，実験などの研究報告で，信頼性，有用性，実用性に富み，新たな知見を含み，学術的，技術的に価値があり，新たな研究の推進，展開に資することができるものと認められるもの。特定の技術的，文化的，歴史的等の主題に関する独創的，総合的な解析ならびに論考で，著者自身の研究に関する視座，理念，方法を反映し，感性工学の技術的，文化的，歴史的展開に有効な示唆を与え，学術的内容を十分に有していると認められるもの。和文研究論文を投稿できる者は，本学会会員とする。ただし，共著の場合，論文筆頭者以外はこの規定に必ずしも拘束されない。日本感性工学会誌『感性工学』に掲載する「論文」「報告」「論説」「ノート」の和文研究の発表，大学の紀要や研究所・会社における研究報告で部内発表されたものなどは，日本感性工学会誌『感性工学』に応募することができる[2]。

#### 4. おわりに

和文研究論文を投稿できる者は，本学会会員とする。ただし，共著の場合，論文筆頭者以外はこの規定に必ずしも拘束されない。日本感性工学会誌『感性工学』に掲載する「論文」「報告」「論説」「ノート」の和文研究論文は次の特質を有するもので、いずれも未発表の原著とする。ただし，本学会における口頭発表や梗概集への発表，本学会研究部会内における

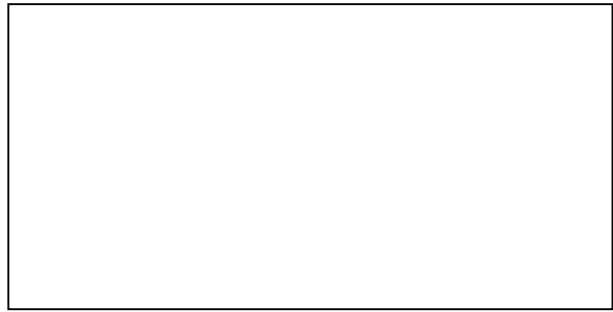


図 1: 快適性と強度との関係

報告，シンポジウムや国際会議等での発表，大学の紀要や研究所・会社における研究報告で部内発表されたものなどは，日本感性工学会誌『感性工学』に応募することができる。和文研究論文を投稿できる者は，本学会会員とする。ただし，共著の場合，論文筆頭者以外はこの規定に必ずしも拘束されない。日本感性工学会誌『感性工学』に掲載する「論文」「報告」「論説」「ノート」の和文研究論文は次の特質を有するもので、いずれも未発表の原著とする。ただし，本学会における口頭発表や梗概集への発表，本学会研究部会内における報告，シンポジウムや展性が大いに期待できると認められるもの。感性工学[3]に関する資料，調査，実測，統計，実験などの研究報告でとができるものと認められるもの。特定の技術的，文化的，歴史的等の主国際会議等での発表，大学の紀要や研究所・会社における研究報告で部内発表されたものなどは，日本感性工学会誌『感性工学』に応募することができる。察を含み，に期待できると認められるもの。感性工学調査，実測，統計，実験などの研究報告で，実用性に富み，新たな知見を含み，学ることができると認められるもの。特定の技術的，文化的，歴史的等の主題に関する独創的，総合的な解析ならびに論考で，著者自身の研究に関する視座，理念，方法を反映し，感性工学の技術的，文化的，歴史的展開に有効な示唆を与え，学術的内容を十分に有していると認められるもの。

本文 2 段組  
 本文 8.5pt, 明朝  
 行数 1 段 50 行 行間 14pt

#### 参考文献

- 1) 日本太郎：シンボル・感性工学の日本の特性，感性工学研究，45,3,57-60,1981
- 2) Bohannon, P. : New Project for Industrial Design, CurrentDesign, 5,1966
- 3) 日本富士雄：図説感性工学の基礎，日本書房，55-72,1971
- 4) Leach, E. : Forms and Function, National Press, 87, 1976
- 5) ベルグ, A. , 田中一郎訳：サインとシンボル，世界感性工学出版，23,1957
- 6) Murdock, G., M.B.Caffee, trans. : Stage of Design, Univ.Press, 67-68,1978